

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名		所在地																
専門学校社会医学技術学院		昭和48年3月31日	山田千鶴子		〒184-8508 東京都小金井市中町2-22-32 (電話) 042-384-1030																
設置者名		設立認可年月日	代表者名		所在地																
学校法人日本リハビリテーション学舎		平成31年4月1日	宮武 剛		〒184-8508 東京都小金井市中町2-22-32 (電話) 042-384-1030																
分野	認定課程名	認定学科名			専門士	高度専門士															
医療	医療専門課程	理学療法学科			平成7年1月23日文科科学省告示第7号	なし															
学科の目的	1年次から早期の臨床見学実習を配置し、2年次からは「老人保健施設」における実習も取り入れ、低学年から様々な臨床現場を体験させるなど、就職先の現場で即戦力となる人材を育成する。																				
認定年月日	平成26年3月31日																				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技														
	3年 昼間		900時間	960時間	900時間	0時間	360時間														
生徒総定員		生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数															
210人		206人	0人	10人	20人	30人															
学期制度	■1学期:4月1日～9月30日 ■2学期:10月1日～3月31日 ■3学期:			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 学科試験により授業目標の達成度を評価し、学習態度及び出席状況等を総合して行う。																
長期休み	■学年始: ■夏季:8月1日～8月31日 ■冬季:12月24日～1月5日 ■学年末:3月21日～3月31日			卒業・進級条件	各学年所定の授業科目のすべてに合格した者は進級又は卒業を認める。																
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 欠席が授業回数の1/3を超えた者は評価を受けることができないが、欠席の理由がやむを得ないと認められ、科目の補填が可能な場合に限り、教育会議の議を経て評価を受けること			課外活動	■課外活動の種類 自治会活動(体育祭実行委員、文化祭実行委員)、近隣施設の車椅子修理、高齢者の体力測定 ■サークル活動: 有																
就職等の状況※2	■主な就職先・業界等(平成30年度卒業生) 病院(国立病院機構・公立・大学・一般)、老人保健施設など			主な学修成果(資格・検定等)※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和2年度卒業者に関する令和3年5月1日時点の情報)																
	■就職指導内容 就職説明会の実施、履歴書の書き方指導、担任教員による個別相談・指導 ■卒業生数: 68人 ■就職希望者数: 62人 ■就職者数: 62人 ■就職率: 100% ■卒業者に占める就職者の割合: 100% ■その他 進路未定: 6名 (令和2年度卒業者に関する2020年5月1日時点の情報)				<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>理学療法士</td> <td>②</td> <td>68人</td> <td>62人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等			資格・検定名	種	受験者数	合格者数	理学療法士	②	68人	62人						
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																		
理学療法士	②	68人	62人																		
中途退学の現状	■中途退学者 4名 令和2年4月1日時点において、在学者208名(平成2年4月1日入学者を含む) 令和3年3月31日時点において、在学者204名(令和3年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 (例)学校生活への不適合・経済的問題・進路変更等 進路変更、成績不振、経済的理由など ■中退防止・中退者支援のための取組 (例)カウンセリング・再入学・転科の実施等(担任教員による面談や保護者との連携、また臨床心理士による心のケアなどを行っている)			■中退率 2%																	
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 経済的に就学困難な最終学年を対象とした給付型奨学金制度(1人10万円) ■専門実践教育訓練給付: 給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																				
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 有 評価団体:一般財団法人リハビリテーション教育評価機構 受審年月:2020年3月 評価結果:適(基準をほぼ満たしている) 評価団体:私立専門学校等評価研究機構 受審年月:2020年4月 評価結果:可(全ての評価基準を満たしている)																				
当該学科のホームページURL	http://www.sigg.ac.jp																				

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針
理学療法士・作業療法士育成のための教育課程の編成・改善にあたり、以下の方針で病院・施設等と密接に連携する。
(1)常に進歩・変化していく現場のニーズを、いち早く教育に取り入れる。
(2)全ての教育課程を臨床的実践力として結実させる。
(3)臨床実習により役立つよう学内授業を工夫する。
(4)学内授業がより役立つよう臨床実習を工夫する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

- ・本委員会は学院長の直轄機関として、社会医学技術学院の委員会組織として位置づけるものである。
- ・本委員会の意見は学内の教務委員会及び各学科会議、さらに教育会議で審議されたのち、学院長の許可を経て決定し、科目内容に反映させている。

令和3年7月1日現在

名前	所属	任期	種別
大久保孝彦	八王子保健医療生活協同組合 代表理事	2020年4月1日～2022年3月31日(2年)	③
小川 克巳	参議院議員	2020年4月1日～2022年3月31日(2年)	①
小林 賢	慶應義塾大学病院	2020年4月1日～2022年3月31日(2年)	③
濱田 賢一	武蔵野中央病院 作業療法士	2020年4月1日～2022年3月31日(2年)	③
下岡 隆之	東京都作業療法士会 教育担当理事	2020年4月1日～2022年3月31日(2年)	②
丸山 仁司	一般社団法人全国リハビリテーション学校協会 理事	2020年4月1日～2022年3月31日(2年)	①
山口 昇	合同会社ライフケアゆうあい	2020年4月1日～2022年3月31日(2年)	①
山田 隆介	一般社団法人TMG本部	2020年4月1日～2022年3月31日(2年)	③
山田 千鶴子	(専)社会医学技術学院 学院長	2020年4月1日～2022年3月31日(2年)	
帯刀 隆之	(専)社会医学技術学院 副学院長	2020年4月1日～2022年3月31日(2年)	
中村 伴子	(専)社会医学技術学院 副学院長	2020年4月1日～2022年3月31日(2年)	
和島 英明	(専)社会医学技術学院 キャリア支援室長	2020年4月1日～2022年3月31日(2年)	
小島 肇	(専)社会医学技術学院 理学療法学科長	2020年4月1日～2022年3月31日(2年)	
河野 達哉	(専)社会医学技術学院 作業療法学科長	2020年4月1日～2022年3月31日(2年)	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

通常は年2回、9月と3月に開催している。

(令和2年度開催日時)

第14回 令和2年10月22日 18:30～20:30

第15回 令和3年5月13日 18:30～20:30(3月延期分)

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

時代は少子高齢化がますます進展し、多死社会を迎えようとしている。理学療法士の役割も病院等の医療機関に留まることなく介護保険分野など多様な広がりを見せている。このような時代の変化に対応できることが求められる。個別の技術論に偏ることなく、本来の使命である対象者の生活能力の回復を目指せるような教育内容の整備をする必要がある。卒業生の就業先では各専門基本技術の修得に並んでコミュニケーション能力についてもニーズが高い。これらの提言を受け、当面各科目内で個別的な教育目標の追加・整備を行った。直近のカリキュラム改訂の際には独立した科目を設置することとしている。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

臨床実習

- (1) 学内学習を臨床で正しく応用・統合する。
- (2) 実習に必要な基礎学習の不足を本学へフィードバックする。
- (3) 学生の個性が学習に生かされるよう実習施設と本学と個々に連携する。

学内実習・演習

- (1) 最新の知見をより実践的に学習するため適宜外来講師を招聘する。
- (2) 臨床実習での応用がより円滑になるように適切な「臨床実習指導者」を招聘する。
- (3) 上記の目的で「臨床実習指導者」と意見交換を行い、実習・演習に活用する。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

- ・臨床実習により、実務を想定した実習環境の提供を受ける。
- ・実務を想定した症例の検査・測定を実施する。
- ・実務指導者による実技指導を受け、また検査結果の解釈方法については座学指導を受ける。
- ・実務での要求レベルを踏まえ学修到達目標についての助言を受け学内学修の参考とする。
- ・目標到達水準について実務指導者と協議し学修成果の評価を行う。
- ・実務指導者を学院に招き臨床実習についての打ち合わせ・検討会議を行う。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
臨床実習Ⅰ	実務を想定した環境で、症例を対象に理学療法検査と測定、実習記録の作成を実習する	別紙様式3-1を参照
臨床実習Ⅱ	実務を想定した環境で、症例を担当して理学療法評価を実施する。評価から分析・統合・解釈の考え方を学修し、治療計画の立案を経験する	別紙様式3-1を参照
臨床実習Ⅲ-A	実務を想定した環境で8週間を実習する。担当症例について理学療法評価から治療の実施と全般的な実習を行う	別紙様式3-1を参照
臨床実習Ⅲ-B	臨床実習Ⅲ-Aと同様に実務を想定した環境で8週間を実習する。 実習Ⅲ-Aで学修した成果を踏まえ、可能な学生にはさらに応用的な症例についても実務指導者の指導を受けながら実習を行う。 不足のある学生には、継続的な実習経験時間として学修する	別紙様式3-1を参照
臨床実習前セミナー	これから始まる臨床実習に向けて、技術指導だけでなく臨床に出るにあたっての心構えや、患者・実務指導者との接し方や対応についてのアドバイスをもらう	臨床実習指導者会議へ出席者より選任

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

専門分野領域や就業先が求める実務知識や効果的指導方法を習得し、教育内容や指導方法に反映することを目的とし、「職員の研修(講習)会等の参加に係わる承認基準について(内規)」及び、2016-2020年度中期事業計画の中の重点目標、及び具体的施策の教育の質の向上、教員の教育力の向上の項目に基づき、教職員の研修参加を促している。また、学内委員会の一つであるFD委員会が、月1回の教育力の向上を目指した研修会を学内で実施している。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

日 時:2020/7/18-24 8/17-23

研修名:日本代表チーム強化合宿

主 催:日本車椅子ラグビー連盟

場 所:東京都ナショナルトレーニングS

参加者:藤川明代

内 容:日本代表トレーナーとして参加

日 時:2020/9/20-22

研修名:第60回日本呼吸器学会学術講演会

主 催:日本呼吸器学会

場 所:WEB開催

参加者:小島 肇

内 容:COVID19パンデミック下の呼吸管理の課題

日 時:2020/11/6-7

研修名:第47回日本臨床バイオメカニクス学会

主 催:日本臨床バイオメカニクス学会

場 所:ライブ配信

参加者:小島 肇

内 容:変形性膝関節症の病因に対する生体力学的アプローチ

日 時:2020/11/7-8

研修名:第9回日本理学療法教育学会学術大会

主 催:日本理学療法士協会

場 所:WEB開催

参加者:藤川明代

内 容:ポスター発表/コロナ禍におけるオンライン実習、研修/障害者リハビリテーションと地域理学療法

日 時:2020/11/9-15 12/14-20

研修名:日本代表チーム強化合宿

主 催:日本車椅子ラグビー連盟

場 所:東京都ナショナルトレーニングS

参加者:藤川明代

内 容:日本代表トレーナーとして参加

日 時:2021/1/30-2/1 2/8-14

研修名:日本代表チーム強化合宿

主 催:日本車椅子ラグビー連盟

場 所:東京都ナショナルトレーニングS

参加者:藤川明代

内 容:日本代表トレーナーとして参加

日 時:2021/2/13

研修名:理学療法士講習会(基本編 理論)

主 催:宮城県理学療法士会

場 所:WEB開催

参加者:坂田晋一

内 容:脳卒中の病態解釈

日 時:2021/2/28

研修名:理学療法士講習会(応用編)

主 催:大阪府理学療法士会

場 所:WEB開催

参加者:坂田晋一

内 容:神経モビライゼーション

日 時:2021/3/14
研修名:2022年呼吸療法認定士認定更新のための講習会
主 催:3学会合同呼吸療法認定士認定委員会事務局
場 所:Eラーニング
参加者:坂田晋一
内 容:呼吸機能検査の呼吸療法への応用、他

日 時:2021/3/15-19
研修名:ジャパンパラ車いすラグビー競技大会(事前合宿)
主 催:日本車椅子ラグビー連盟
場 所:東京都ナショナルトレーニングS
参加者:藤川明代
内 容:日本代表トレーナーとして参加

日 時:2021/3/20-21
研修名:2021 ジャパンパラ車いすラグビー競技大会
主 催:日本車椅子ラグビー連盟
場 所:千葉ポートアリーナ
参加者:藤川明代
内 容:日本代表トレーナーとして参加

日時 :2021/3/26-28
研修名:第85回日本循環器学会学術集会
主催 :日本循環器学会・世界循環器学会
場所 :WEB開催
参加者:小島 肇
内容 :心血管疾患におけるリハビリテーションに関するガイドライン

日時 :2021/3/28
研修名:理学療法士講習会(基本編 理論)
主催 :愛知県理学療法士会
場所 :WEB開催
参加者:坂田晋一
内容 :脊椎疾患の包括的な理学療法アプローチ

②指導力の修得・向上のための研修等

日時 : 2020/9/16-18
研修名:教育ITソリューションEXPO
主催 :株)リードエグジビションジャパン
場所 :幕張メッセ
参加者:FD委員、他教職員
内容 :教育ITに関わるツールや教材の展示と最近の動向について情報収集と講演会の受講

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

日 時: 2021/4/18
研修名:認定必須研修会
主 催:日本理学療法士協会
場 所:オンライン
参加者:坂田晋一
内 容:認定理学療法士(臨床教育)取得のため

日 時:2021/4/23-4/25
研修名:日本呼吸器学会学術講演会
主 催:日本呼吸器学会
場 所:東京国際フォーラム、WEB との併用開催
参加者:小島肇
内 容:シンポジウム「新型コロナウイルス感染症-1年の総括-」他

日 時:2021/5/1
研修名:認定必須研修会
主 催:日本理学療法士協会
場 所:オンライン
参加者:坂田晋一
内 容:認定理学療法士(臨床教育)取得のため

②指導力の修得・向上のための研修等

日 時:2021/5/12
研修名:第12回教育ITソリューション/EXPO
主 催:(株)リードエグジビションジャパン
場 所:東京ビッグサイト
参加者:和島英明、小島肇、山本千夏
内 容:リカレント教育、FD研修に関わる情報収集など

日 時:2021/5/29-30
研修名:第55回日本理学療法学会研修大会2020inおおい
主 催:日本理学療法士協会
場 所:オンライン
参加者:坂田晋一
内 容:担当科目(運動の効果と可能性、運動療法と物理療法など)に関する最新知識を学ぶ

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

学校運営について就職先委員等を含む8名の委員により以下に関する意見を求める。

①学院の教育目標、教育方針、教育計画に関すること ②教育活動の実施に関すること ③学院と地域の連携の進め方に関すること ④その他本学院の学校運営に関すること

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	理念・目的・育成人材像
(2)学校運営	運営方針、事業計画、運営組織、人事・給与制度、意思決定システム、情報システム
(3)教育活動	目標の設定、教育方法・評価等。成績評価・単位認定等、資格・免許取得の指導体制、教員・教員組織
(4)学修成果	就職率、資格・免許の取得率、卒業生の社会的評価
(5)学生支援	就職等進路、中途退学への対応、学生相談、学生生活、保護者と連携、卒業生・社会人
(6)教育環境	施設・設備等、学外実習・インターンシップ等、防災・安全管理
(7)学生の受入れ募集	学生募集活動、入学選考、学納金
(8)財務	財務基盤、予算・収支計画、監査
(9)法令等の遵守	関係法規、個人情報保護、学校計画、教育情報の公開
(10)社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献、ボランティア活動
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

平成30年度実施した学校関係者評価結果に基づき、以下の主な意見を聴取し参考にした。①入学前教育の実施に対する、主に効果についての意見 ②入学応募者を確保するための方策についての意見 ③教職員人事評価制度を試行させた年度であることからそれに関する意見 ④卒業時点・卒業生の国家試験合格率の向上と確保に関する意見 ⑤産学連携に関する意見 ⑥臨床実習教育に関する意見 など

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和3年7月1日現在

名前	所属	任期	種別
濱松 俊彦	小金井市保健福祉部 高齢福祉課 包括支援係長	2020年4月1日～2022年 3月31日(2年)	自治体
濱野 智徳	濱野公認会計士事務所	2020年4月1日～2022年 3月31日(2年)	地域
西本 典良		2020年4月1日～2022年 3月31日(2年)	卒業生
大関 健一郎	帝京科学大学医療科学部 作業療法学科	2020年4月1日～2022年 3月31日(2年)	関係業界
岩谷 清一	永生病院 リハビリテーション部	2020年4月1日～2022年 3月31日(2年)	実習地
大石 洋人	天本病院 リハビリテーション科	2020年4月1日～2022年 3月31日(2年)	就職先
森川 美智恵	調布南高校 教諭	2020年4月1日～2022年 3月31日(2年)	高校教員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
(例)企業等委員, PTA, 卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ) 令和3年6月25日公表

<https://www.sigg.ac.jp/corporate/pdf/v2020/assessment2020.pdf>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

「専修学校における学校評価ガイドライン」に準拠し、毎年「自己点検評価、学校関係者評価」を実施する。評価結果を学校ホームページで公開するとともに年次ごとに更新を実施している。また、「専門学校における情報提供等への取り組みに関するガイドライン」に準拠し、公開を求められているすべての項目について学校案内、学生募集要項、学校ホームページのいずれかによって情報提供を行っている。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校の概要、沿革、教育理念等、行動目標、
(2) 各学科等の教育	定員、在校生数、カリキュラム、資格取得率、卒業生数、就職率、求人数
(3) 教職員	常勤職員数、非常勤職員数
(4) キャリア教育・実践的職業教育	臨床実習の概要
(5) 様々な教育活動・教育環境	入学式、三科合同行事、体育祭、文化祭、卒業式
(6) 学生の生活支援	学生相談室
(7) 学生納付金・修学支援	納付金
(8) 学校の財務	学校の財務
(9) 学校評価	自己評価報告書、学校関係者評価報告書、第三者評価報告書
(10) 国際連携の状況	
(11) その他	学則

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法 ホームページ

URL:<https://www.sigg.ac.jp/corporate/info/index.html>

授業科目等の概要

(医療専門課程昼間部理学療法学科) 2020年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験・ 実 習・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			統計学	研究法に用いられる統計的手法およびそれに使われる統計ソフトの使用法について学習する	3前	30	2	○			○			○	
○			運動学演習	運動学Ⅰ・Ⅱの学習を基に、人の日常動作について機器等を活用し運動学の知識を深める	2後	30	1	△	△	○	○		○		
○			臨床神経学	神経障害を生じる主な疾患の疫学や病態、症状や一般的治療について学ぶ	2後	60	3	○			○			○	
○			整形外科Ⅰ	整形外科疾患の概念・病態・症状・神経学的検査・診断と治療・予後等における一般的な整形外科的知識を理解する	2通	30	2	○			○			○	
○			整形外科Ⅱ	整形外科の主要な疾患のリハビリテーションについて理解する	2前	30	2	○			○			○	
○			リハビリテーション医学	リハビリテーション医学の概念と各障害に対するリハビリテーション医学の概要について学習する	3前	30	2	○			○			○	
○			臨床運動学	機能障害や活動制限を理解するために、姿勢・動作観察から患者の姿勢・動作分析の過程を習得する。	2後	60	2	△	○		○		○		
○			理学療法演習Ⅱ	地域リハビリテーション見学と検査測定実習のための臨床実習Ⅰに向けた準備のために、地域包括ケアシステムに関することや、検査測定技術に関して復習し、また実習後に振り返りを行う。	2後	30	1	△	○		○			○	
○			理学療法演習Ⅱ	理学療法の評価や治療計画立案を模擬的な症例を基に演習形式で学習する	3前	60	2	△	○	△	○			○	
○			理学療法概論Ⅱ	理学療法業務における管理・運営や倫理について学習する	3前	20	1	○			○		○		
○			理学療法評価学Ⅱa	脳・神経機能を理学療法評価するための知識、技術について学習する	2前	30	1	△	○		○		○		
○			理学療法評価学Ⅱb	脳・神経機能を理学療法評価するための知識、技術について学習する	2後	30	1	△	○		○		○		
合計			12 科目		440		単位時間(26		単位)			

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
科目成績合格にて単位を取得、履修方法は通学	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(医療専門課程昼間部理学療法学科) 2020年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			理学療法評価学Ⅲ	妥当な理学療法評価を実施するために、画像情報をはじめとする医学検査情報を解釈する	2後	30	1	○	△		○			○	
○			理学療法臨床推論	妥当な理学療法評価を実施するために、得られた情報を解釈・統合し、対象者の理学療法目標を達成する理学療法プログラムを立案するまでに至る推論過程を習	2後	30	1	△	○		○			○	
○			運動療法学	各理学療法治療学を発展させるために、理学療法の主要な治療法である運動療法を習得する	2前	30	2	○	△		○			○	
○			運動器系理学療法学	運動器系障害の対象者へ効果的な理学療法を実施するために、妥当な評価に基づいて理学療法プログラムを立案し、実施できる	2後	60	2	○	△		○			○	
○			物理療法学Ⅱ	治療に用いられる物理的手段の適応方法についての知識、技術について学習する	2前	30	2	○	△		○			○	
○			日常生活活動論	日常生活活動の評価、指導をするための知識、技術について学習する	2前	60	3	○	△		○			○	
○			義肢装具学	義肢装具について種類、構造、適応についての知識と技術を学習する	2前	60	2	○	△		○			○	
○			病理学概論	各種の疾患の病態や原因について学習する	2後	30	2	○			○			○	
○			運動療法学技術論	中枢神経障害、運動器障害に対する治療方法論演習と特殊な技術について学習する	3前	60	2	△	○	△	○			○	
○			脳血管障害理学療法学Ⅱ	脳血管障害領域の理学療法治療を実施するために必要な知識、技術について学習する	3前	30	2	△	○		○			○	
○			日常生活活動論演習	日常生活活動論で学習した内容を演習形式で習得する	3前	30	2	△	○		○			○	
○			内部障害理学療法学	内部障害領域の理学療法治療を実施するために必要な知識、技術について学習する	3前	60	3	○	△		○			○	
合計			12 科目		510		単位時間(24		単位)			

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
科目成績合格にて単位を取得、履修方法は通学	1 学年の学期区分	2 期
	1 学期の授業期間	15 週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(医療専門課程昼間部理学療法学科) 2020年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			生活環境論	対象者が置かれる生活環境の理解を図るための知識について学習する	3前	30	2	○			○		○		
○			地域理学療法論	地域で展開される理学療法についての知識, 技術を学習する	3前	30	2	○	△		○			○	
○			臨床実習Ⅰ	予内で習得した検査・測定等の知識・技術を臨床の場で応用するために, また地域リハビリテーションの分野を理解するために, 指導者の指導のもと臨床現場で経験を深める	2前	90	2			○		○		○	○
○			臨床実習Ⅱ	症例に対する標準的な理学療法評価(検査・測定, 統合と解釈, 問題点抽出, 目標設定等)を臨床の場で応用するために, 指導者の指導のもと臨床現場で経験を深める	2後	135	3			○		○		○	○
○			臨床実習ⅢA	臨床現場で実際に, 身体障害者に対して, 理学療法の評価から治療までの知識と技術を習得する	3後	360	8			○		○		○	○
○			臨床実習ⅢB	臨床現場で実際に, 身体障害者に対して, 理学療法の評価から治療までの知識と技術を習得する	3後	360	8			○		○		○	○
○			基礎力養成講座	医療専門職としての基本的な社会人基礎力を習得する	1前	30	2	○			○		○		
○			情報社会と情報リテラシー	私たちの生活を取り巻く情報社会の現状を理解し, 正しい情報収集方法, 情報の吟味, 情報セキュリティ, また情報を取り扱うスキルとマナーなどについて理解する	1前	30	2	○			○			○	
○			バイオメカニクス	人間の身体運動を物理学の側面から学習する	1前	30	2	○			○		○		
○			医療コミュニケーション論Ⅰ	患者家族と適切なコミュニケーションを図るために, コミュニケーションの本質を学び, 基本的な人間関係のあり方, 関係構築の方法を習得する	1前	30	1		○		○		○		
○			生命倫理学	プロフェッショナルの基礎としての人間性を涵養するために, 生命倫理的課題を多角的に検討し, 生命の尊厳について深く考察する	1前	30	2	○			○			○	
○			現代社会と社会保障	地域包括ケアシステムを理解するために, 社会保障制度を歴史的に理解し, 医療制度, 社会福祉制度, 健康・介護保険制度を学ぶ	1前	30	2	○			○			○	
合計			12 科目		1185 単位時間		(36 単位)								

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
科目成績合格にて単位を取得, 履修方法は通学	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 一の授業科目について, 講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については, 主たる方法について○を付し, その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については, 実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(医療専門課程昼間部理学療法学科) 2020年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			解剖学Ⅰa	解剖学のうち、筋骨格系について学習する	1前	60	3	○	△		○			○	
○			解剖学Ⅰb	解剖学のうち、消化器系、感覚器系について学習する	1後	60	3	○	△		○			○	
○			解剖学Ⅱa	人体の正常な形態とその形成過程及び機能的意義について理解を深めるために、神経系について学ぶ	1前	30	2	○			○			○	
○			解剖学Ⅱb	人体の正常な形態とその形成過程及び機能的意義について理解を深めるために、脈管系について学ぶ	1後	30	2	○			○			○	
○			生理学Ⅰa	人体の生命活動を理解するために、神経・筋活動を理解する	1前	30	2	○			○		△	○	
○			生理学Ⅰb	人体の生命活動を理解するために、感覚機能、感覚と運動の相互作用を理解する	1後	30	2	○			○		△	○	
○			生理学Ⅱa	人体の正常な恒常性の機序及び機能的意義について理解を深めるために、「体液・血液」、「心臓・循環」の機能、役割について学ぶ	1前	30	2	○			○			○	
○			生理学Ⅱb	人体の正常な恒常性の機序及び機能的意義について理解を深めるために、「呼吸」、「排泄」、「代謝」、「体温」、「消化・吸収」、「内分泌」の機能、役割について学ぶ	1後	30	2	○			○			○	
○			人間発達学	人間の発達を身体運動、対人関係、認知機能、言葉、人格の側面から学習する	1後	30	2	○			○			○	
○			運動学Ⅰ	人体運動の表記、関節・筋の構造と運動、筋触診法について学習する	1後	30	1		○		○			○	
○			運動学Ⅱ	歩行や移動動作等の人体の運動を分析するために必要な運動学的知識を学習する	1後	30	1		○		○			○	
○			リハビリテーション医学	リハビリテーション医学の概念と各障害に対するリハビリテーション医学の概要について学習する	1後	30	2	○			○			○	
合計			12 科目		420		単位時間(24		単位)				

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
科目成績合格にて単位を取得、履修方法は通学		1学年の学期区分	2期
		1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(医療専門課程昼間部理学療法学科) 2020年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時間数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			臨床心理学	対象者の心理を理解するための検査法、ならびに心理治療の概要を学習する	1後	30	2	○			○			○	
○			リハビリテーション概論	リハビリテーションの歴史や理念、概要について学習する	1前	30	2	○			○		○	△	
○			理学療法概論	理学療法の全体像を俯瞰し、理学療法の歴史や評価・治療の一連の流れを理解し、理学療法技術を概観するとともに、プロフェッショナルリズムの意義を理解する	1前	30	1		○		○		○		
○			理学療法演習Ⅰ	臨床見学実習の目標を達成するために、社会医学技術学院の学生としての自覚を持ち、社会人・医療人としての立ち振る舞い、プロフェッショナルリズムを実践的に学習し、体得できる	1前	30	1		○		○		○		
○			フィジカルアセスメント	理学療法評価学関連の科目に連動するために、解剖学、生理学、運動学に基づいたフィジカルアセスメントの必要性を理解し、そのスキルを習得する	1後	30	1		○		○		○		
○			理学療法評価学Ⅰa	理学療法学の総論をふまえた上で、信頼性のある理学療法評価を実施するために、姿勢・形態測定・関節可動域測定を習得する	1後	30	1			○	○		○		
○			理学療法評価学Ⅰb	理学療法学の総論をふまえた上で、信頼性のある理学療法評価を実施するために、徒手筋力検査を習得する	1後	30	1			○	○		○		
○			物理療法学Ⅰ	治療に用いられる主に温熱療法の適応方法についての知識、技術について学習する	1後	30	1		○		○		○		
○			生活環境支援理学療法学	自立支援のために、車椅子・福祉機器・住宅改造・周辺環境を含めた内容を理学療法の観点から学ぶ	1後	30	1		○		○		○		
○			臨床見学実習	臨床現場での理学療法士の役割を理解し、その後の学習への動機づけのために、臨床現場の見学を通じて、理学療法士の理解を深める	1後	45	1			○		○		○	○
○			臨床内科学Ⅰ	臨床内科学を理解するために、医学概論を理解した上で、主要な内科疾患について学ぶ	2前	30	2	○			○			○	
○			臨床内科学Ⅱ	老年期と小児期を医学的に理解するために、老年学と小児科学について学ぶ	2前	30	2	○			○			○	
合計			10 科目		375 単位時間		(16 単位)								

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
科目成績合格にて単位を取得、履修方法は通学	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(医療専門課程昼間部理学療法学科) 2020年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			社会医学	医療職である療法士としてプライマリヘルスケアを理解するために、社会医学の概要について学ぶ。	2後	30	2	○			○		○	△	
○			中枢神経系理学療法学Ⅰ	脳外傷を含む脳血管障害の対象者へ効果的な理学療法を実施するために、妥当な評価に基づいて理学療法プログラムを立案し、実施できる。	2後	60	2	△		○	○		○		
○			発達系理学療法学	発達系障害の対象者へ効果的な理学療法を実施するために、妥当な評価に基づいて理学療法プログラムを立案し、実施できる。	2前	30	1	△	○		○			○	
○			神経筋系理学療法学	神経筋系障害の対象者へ効果的な理学療法を実施するために、妥当な評価に基づいて理学療法プログラムを立案し、実施できる。	2後	30	1	△	○		○		○		
○			物理療法学Ⅱ	治療に用いられる主に温熱療法の適応方法についての知識、技術について学習する	2前	30	1		○		○		○		
○			地域理学療法学	地域包括ケアシステムでの理学療法士の役割を果たすために、本システムへの理学療法士の展開を学ぶ	2前	30	2	○			○		○	△	
				以下余白											
合計					10	科目	210	単位時間(9	単位)				

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
科目成績合格にて単位を取得、履修方法は通学		1学年の学期区分	2期
		1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。